

# T-グッズ窓枠Aタイプ

## 取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書 (注:Tブロックの施工はTブロック取付説明書〈取説コードB033〉を参照して下さい。)

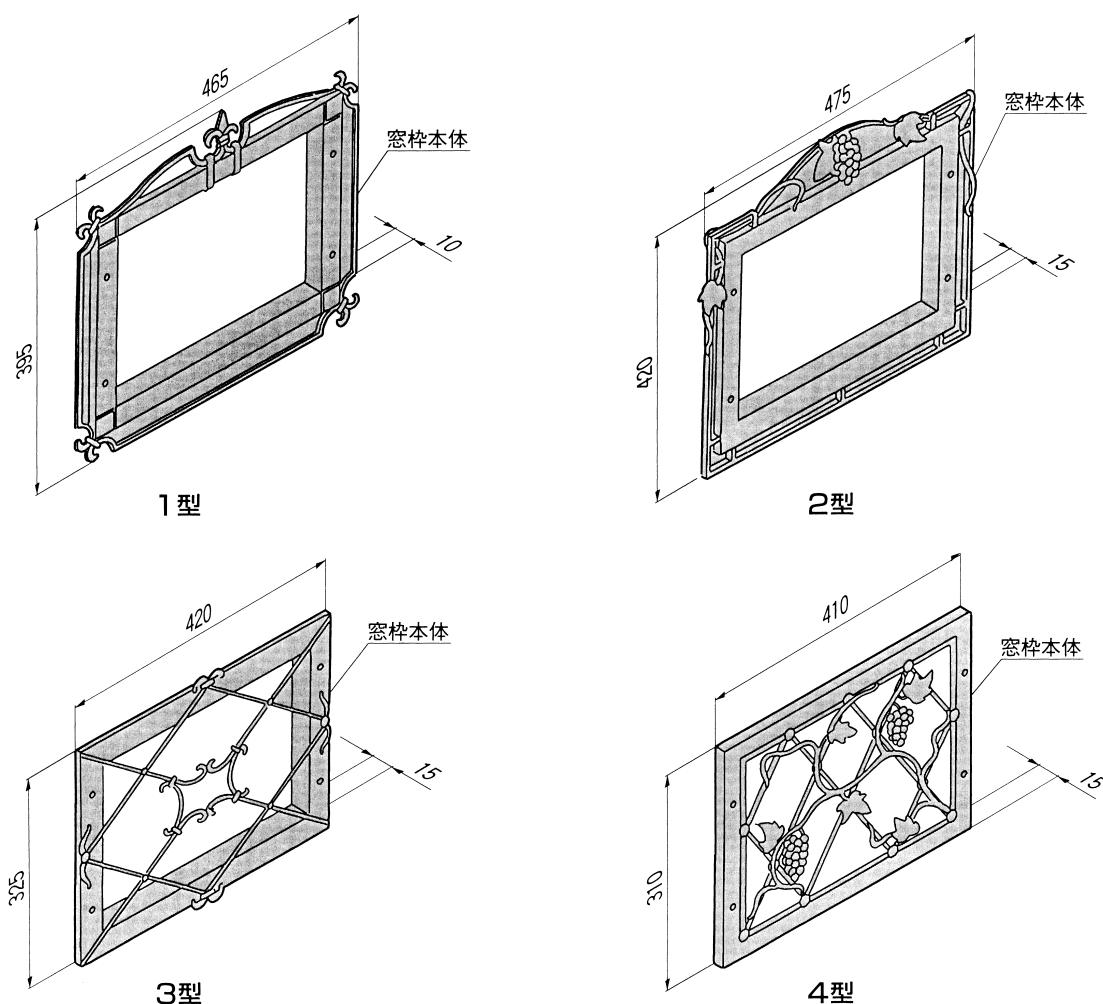
### ① 窓枠Aタイプセット

名 称	員 数
窓枠本体	1
窓枠固定金具	4
端部ふさぎ材	2
上部ふさぎ材	1
接着剤	1
クッション材	1
窓枠固定ネジ M4×14トラス	4

### ② 現場張り用モルタルセット

名 称	員 数
T-ブロック専用樹脂	1.1kg
T-ブロック専用セメント	10kg
③ 端部・笠木用ブリックセット	
名 称	員 数
端部笠木用ブリック L=165	50

## 1. 窓枠基本寸法図



### <注意>

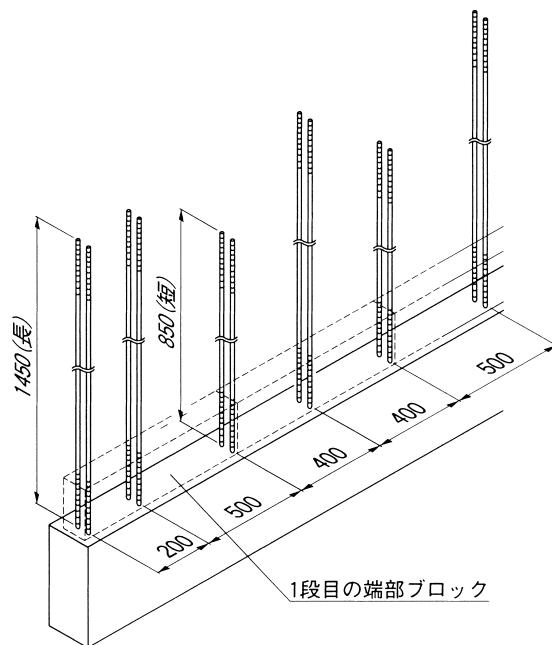
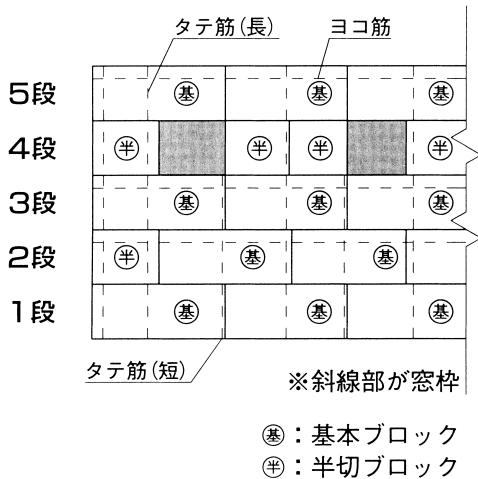
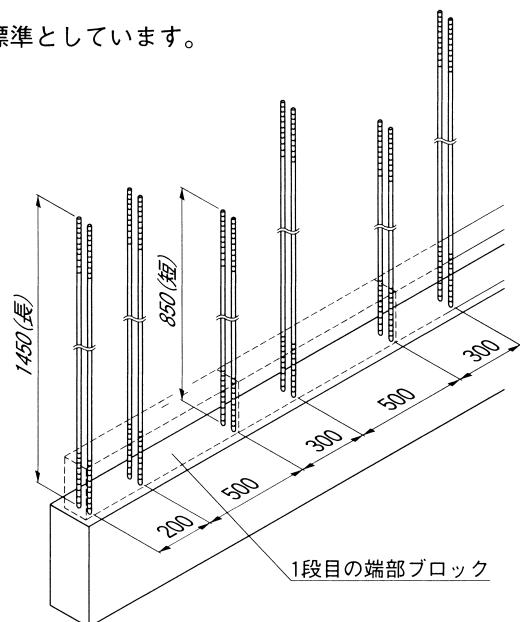
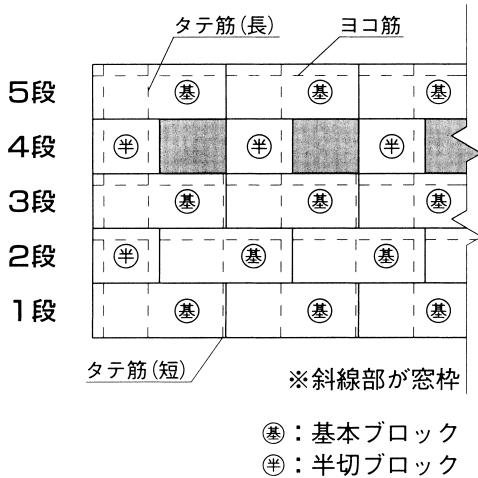
- 厚み方向の寸法は、ブロック壁面からの出幅寸法を示します。

## 2.施工の前に

### <注意>

- 窓枠を取付ける仕様でのT一ブロックの施工の場合は、通常の施工(T一ブロックの取付説明書・取説コードB033で指示している施工)の場合と比べ、タテ筋ピッチおよびヨコ筋配筋位置が異なっています。十分注意して施工して下さい。

- ① 窓枠はA, Bのように4段目(斜線部)に施工する事を標準としています。



### <注意>

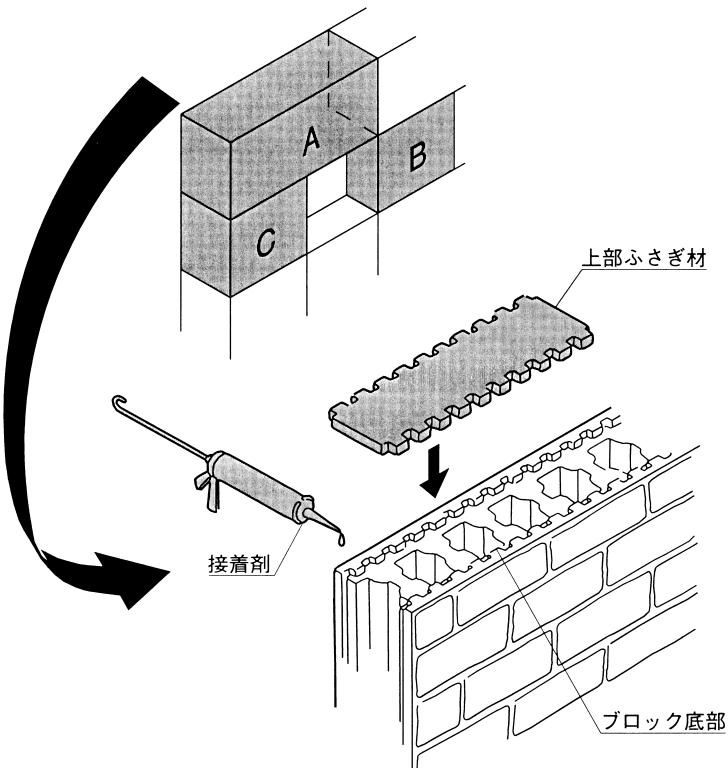
- 上記以外の位置に窓枠が取付く場合、下記の要領に従ってタテ筋・ヨコ筋を配筋して下さい。

- ① タテ筋は800ピッチ以内になるようにして下さい。  
② ヨコ筋は窓枠が入る段(通常は4段目)をさけ、連続して2段ブロックを積むうち、少なくとも1段に配筋して下さい。

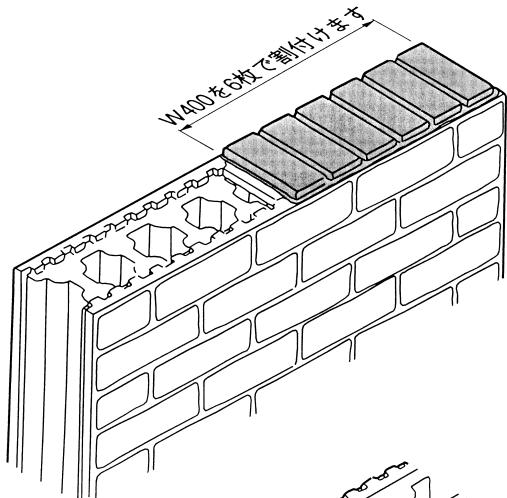
### <注意>

- T一ブロックの施工はあらかじめ施工図にて、ブロックの割付け、配筋、モルタル充てん箇所を確認して下さい。

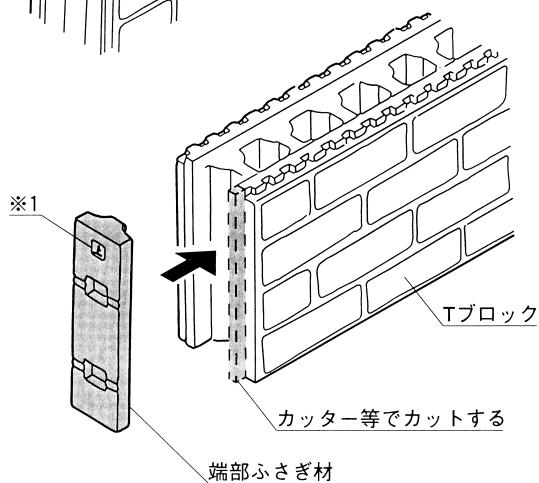
### 3. 窓枠部分のブリック張り



① 窓枠の上部(図中A)および側面部(図中B、C)にあたるブロックをあらかじめ選別しておいて下さい。



② 図中Aにあたるブロックにブリック(L=165)を張り、ブロックの下部に接着剤で上部ふさぎ材を貼り付けて下さい。



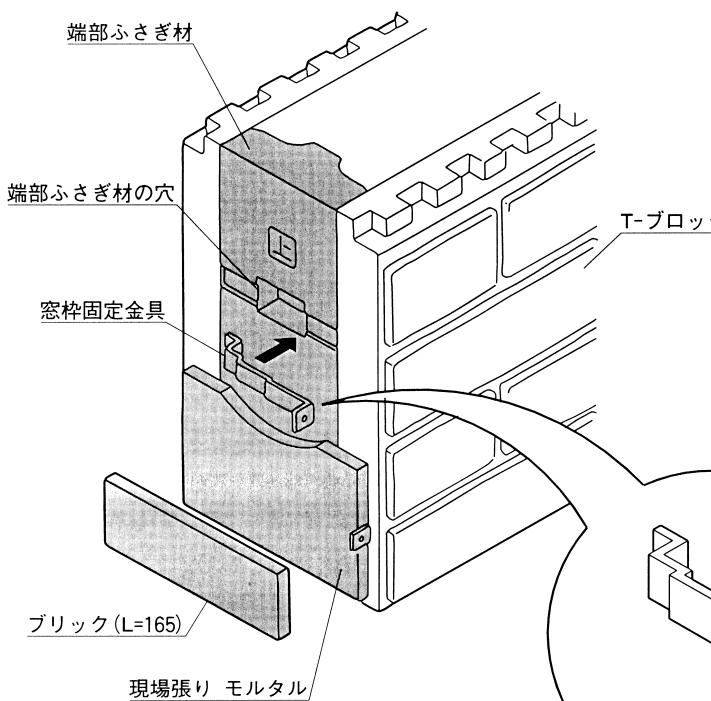
③ 十分接着剤が硬化した事を確認した後、ブリック(L=165)をTーブロックの取付説明書(取説コードB033)に従って張り付けて下さい。

④ 図中B、Cにあたるブロックにブリック(L=165)を張り、ブロック端部の小口面にある出っばかりをカッター等で切断して、ふさぎ材を接着剤で貼り付けて下さい。このとき、端部をふさぎ材とブロックの発泡下地の下面をあわせるようにして下さい。

#### <注 意>

- 端部ふさぎ材とTーブロックの部材の「端面ふさぎ材」とは形状が異なりますので混同しないようにして下さい。
- 「端部ふさぎ材」の取付け向きに注意して下さい。(※1)

### 3. つづき



⑤ 窓枠固定金具をふさぎ材の穴(2ヶ所)にはめ込んで下さい。

⑥ 端部ふさぎ材の穴へ現場張り用モルタルを充てんして下さい。

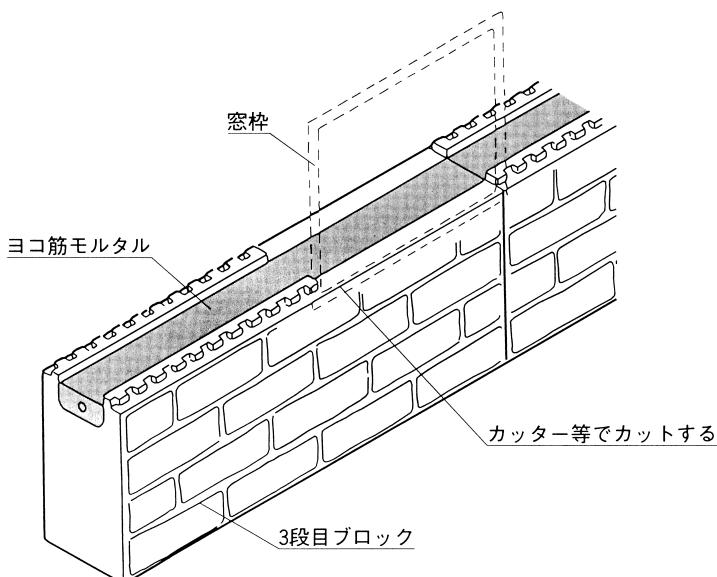
⑦ ブリック(L=165)を「現場張り用モルタル」で張って下さい。

#### <注 意>

- 窓枠固定金具をつけた状態でのモルタル塗りは金具の位置がずれないよう十分注意して下さい。金具がずれますと、窓枠との穴位置があわなくなり、取付かなくなる事があります。

### 4. ブロックの施工

#### 4-1 3段目までの施工



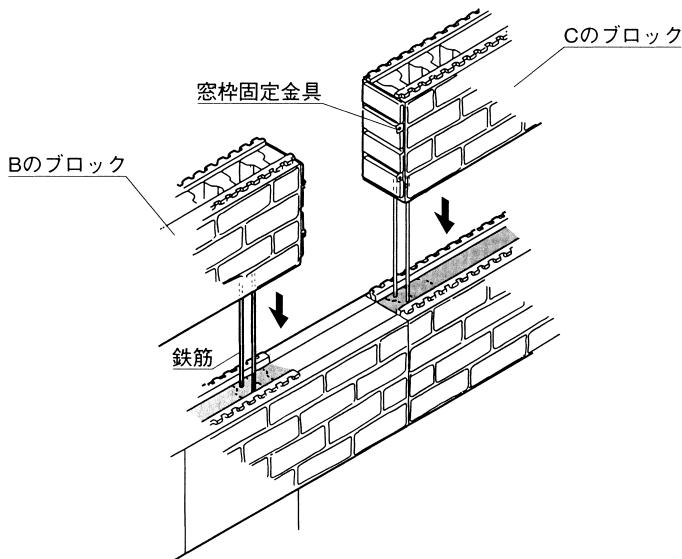
#### <注 意>

- 3段目までは通常のブロック施工方法と同様です。T一ブロックの取付説明書(取説コードB033)を参照して下さい。

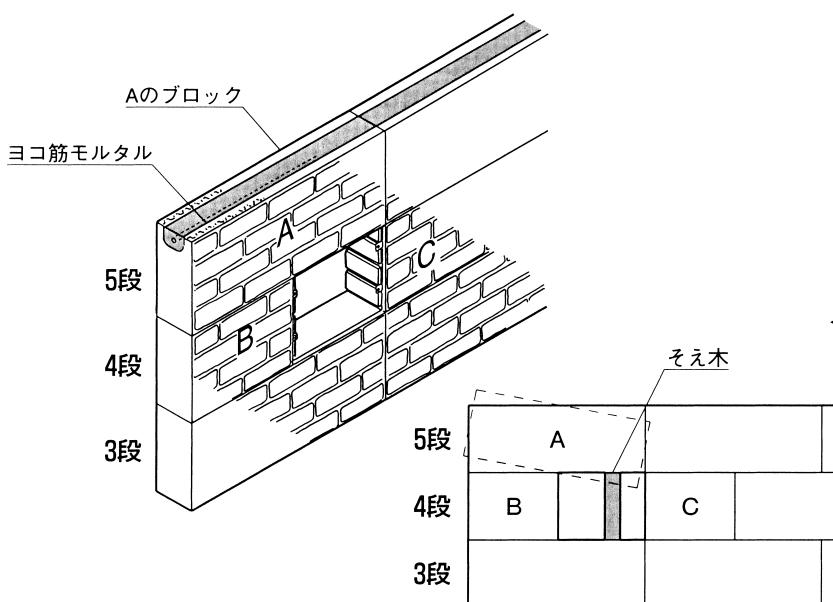
① 窓枠を取付ける部分のブロック上部の凹凸部をカッター等でカットして下さい。

② 2段目、3段目にはヨコ筋を配筋し、モルタルを充てんして下さい。また、窓枠を取付ける部分のモルタルは、平にならして下さい。

## 4-2 4段目・5段目の施工



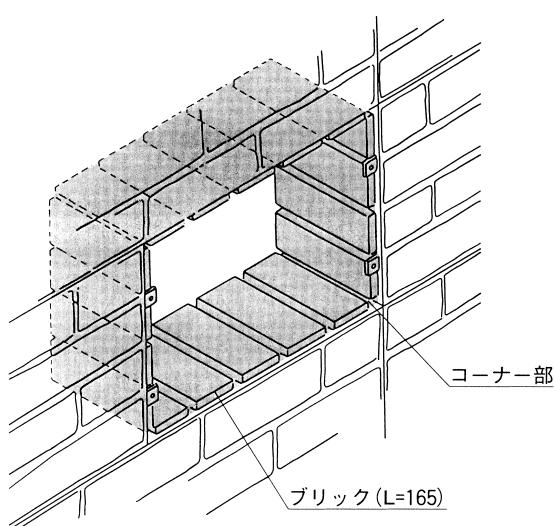
- ① 「3. 窓枠部分のブリック張り」の項で作ったブロック(図中B、C)をジョイント凹凸部にはめ込み、タテ筋部分にモルタルを充てんして下さい。



- ② 「3. 窓枠部分のブリック張り」の項で作ったブロック(図中A)をジョイント凹凸にあわせ、同様に施工して下さい。なお、5段目にはヨコ筋を配筋したモルタルを充てんして下さい。

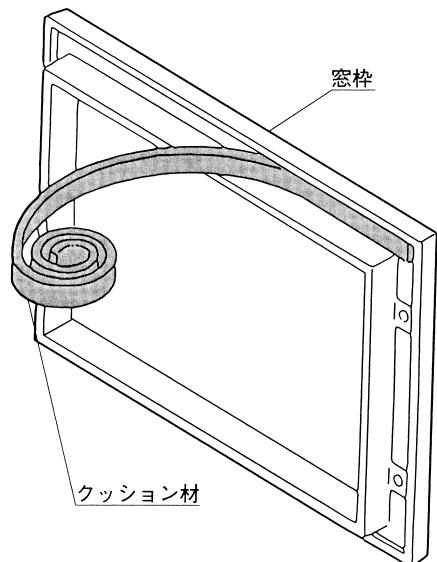
### <注意>

- 左図Aのブロックは、発泡芯材内部のモルタルが硬化するまでは、図中点線部のように傾いた状態になってしまい、後で窓枠本体が穴に入らない場合があります。モルタルが完全に硬化するまでは左図のようにそえ木などで仮固定し、Aのブロックが傾かないようにして下さい。

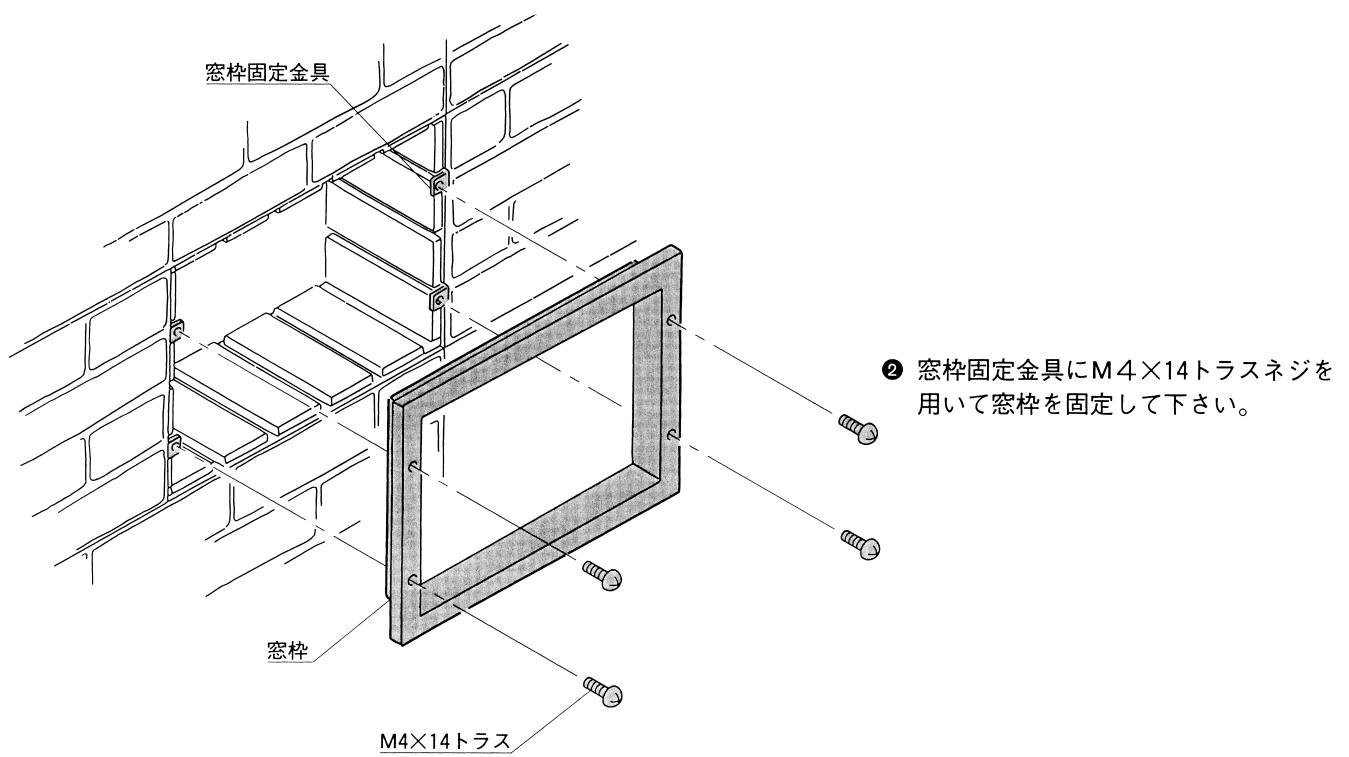


- ③ ブロック内部のモルタルが完全硬化した後、窓枠の下側の部分にブリック(L=165)をモルタルセットのモルタルで張り付け、またコーナー部に隙間がある場合はモルタルで隙間を埋めて下さい。

## 5. 窓枠の取付け



- ① 窓枠の奥のヘコミにあわせるようにして、クッション材を貼り付けて下さい。



- ② 窓枠固定金具にM4×14ト拉斯ネジを用いて窓枠を固定して下さい。

## 6. 注意事項とお願い

### ■施工上の注意

#### 【1】運搬および保管

- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意して下さい。
- 発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると紫外線により表面が劣化する恐れがあります。
- 屋外で保管する場合は必ず養成シート等で覆って下さい。
- 発泡芯材部は、80℃以上になりますと融解しますので火気や高温熱源のない場所に保管して下さい。

#### 【2】施工

- 充てんモルタルが硬化するまで添え木等で支え、ずれたり倒れたりしないように注意して下さい。
- 気温が5℃以下になる場合は施工を避けて下さい。
- 表面にモルタルが付着した場合は、速やかに柔らかいナイロンブラシ等で水洗いをして下さい。乾燥してからの酸洗いや金属ブラシでの清掃は、ブリック表面を傷めますので行なわないで下さい。
- はっ水材は弊社のオプション品か又は指定の市販品を使用して下さい。また、取扱いについてはそれぞれの取扱説明書をよくお読み下さい。
- 発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などに優れた抵抗性を持っていますが、アルコール以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っていますので、それらが付着しないように注意して下さい。(例:有機溶剤系塗料、接着剤、有機溶剤系はっ水剤、灯油、ガソリン等)

### ■使用上の注意

- 年に2～3回の水洗いをして下さい。
- 清掃には金属性のブラシや金ベラは使用しないで下さい。表面を傷める恐れがありますので柔らかいナイロンブラシ等を使用して下さい。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落としたあと、洗剤が残らないようによく水洗いをして下さい。その際、近くの植栽に洗剤がかからないように注意して下さい。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は避けて下さい。表面を傷める恐れがあります。
- ブリックの主成分がセメント系であるため、内部や目地部分からカルシウム分が水分により溶けだし、表面に白いシミ(白華現象)ができる事があります。その場合は、柔らかいナイロンブラシ等で水洗いをして下さい。なお、酸や酸性洗剤を用いての酸洗いは表面を傷める恐れがありますので行なわないで下さい。
- 商品芯材部の発泡は難燃材を含んでいますので、微小火源では着火しにくくなっていますが80℃以上で融解する性質があります。火気や高温熱源を近づけないで下さい。



工事店様へ

- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し下さい。
- 御使用いただきましてありがとうございました。次回も当社の製品を御使用下さい。



97-03A  
98-05C